

おすす 畑かん科判

第 6 号
平成21年3月



スプリンクラー散水によるブドウ園のつらら

(説明については、「農家の声」のコーナーを参照)

尾鈴地区農業水利総合開発事業促進協議会
九州農政局尾鈴農業水利事業所
宮崎県児湯農林振興局

事務局：川南町役場農村整備課
TEL 0983(27)8012

国営尾鈴土地改良事業の実施状況

〈国営事業〉

切原ダムは、平成20年10月から堤体コンクリート打設を開始しています。

青鹿ダムは、平成21年3月から放流設備等の工事に着手しました。

パイプライン及びファームポンドの工事も順調に進んでいます。

平成21年度は、引き続き切原ダムの堤体コンクリート打設及び青鹿ダムの放流設備等の工事を実施するとともに、パイプライン、ファームポンド等の工事も着実に進めていきます。

国営事業の完了時期は、平成23年度の予定です。

主な施設	全体量	進捗率 (%)										備考
		10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	
切原ダム	1式	45%										工事用道路を含む
青鹿ダム取水設備改修等	1式	84%										〃
パイプライン	36km	85%										
ファームポンド	4カ所	3カ所										

※進捗率は平成20年度までの予定



〈県営事業〉

尾鈴北第1地区の進捗情報 待ちに待った水が来る! 甘付～孫谷方面へ 通水が開始

平成19年度より本格的に進めていた、国道10号線より東側への県営パイプラインが開通し、待望の水が甘付～孫谷方面で利用可能になりました。



給水栓

孫谷地域では、これまで独自の用水施設が整備されていましたが、十分な水量がありませんでした。
今回の整備により、安心して水を使うことができます。

今回設置された減圧水槽。標高が低い地域では水圧が高過ぎるため、圧力を抑えて水を使いやすくするものです。



新規の県営事業 鬼ヶ久保地区

いよいよ高鍋町 でも県営事業の 準備が始まる

各ほ場までの畑かん施設の整備を行う県営事業。いよいよ高鍋町でもその準備が始まりました。

県営畑地帯総合整備事業の鬼ヶ久保地区（一部川南町を含む）として、平成22年度の着工を目指し調査を開始しています。



小丸川

国道10号線

受益地の様子



「尾鈴北第1地区」畑作営農推進プロジェクト班の取組状況

こんな活動をしています

プロジェクト班では、尾鈴北第1地区にどんな作物が作付けされているかを季節ごとに調査する「作付調査」や、平成19年度は9戸の農家の協力を得て、実際に畑かんの水をかん水や防除等に利用して、その効果や作物の品質・収量にどのような影響を及ぼすかの実証調査を行っています。

その他、受益者を対象とした散水施設の展示実演会や、イベントでの実演展示活動も行っています。

いちごへの効果

品質・収量アップ！

ハウスのかん水は給水栓から直結で、必要時に簡便にかん水できます。

従来の溜池水温より5～6℃水温が高く、ストレス緩和効果とともに、常時給水と水を利用した土壌消毒等の相乗効果によって、給水が不安定であった前年と比較すると、収量は約70%、A品率は約50%と収量が増加しただけでなく秀品率も大幅にアップしました。



防除効果も！

線虫対策に湛水土壌消毒

ハウスビニールを展張したまま、40日間の湛水（期間中の注水は少量）を行いました。

いちごの根を観察したところ線虫の寄生は全く見られませんでした。

萎黄病対策に土壌還元消毒

ハウスビニールを展張のまま米ぬかを全面散布・攪拌して土壌が十分湿るようにタツプリとかん水。

消毒期間中、2度の台風接近でビニールを除去したため、地温上昇が不十分で効果が完全に発揮できませんでしたが、土壌くん蒸剤との併用と常時給水により良好な生育で草勢を終盤まで保持できました。



現在も3戸のいちご農家の協力をいただき、畑かんの水を使った効率的な防除方法や土壌管理方法を調査しています。これは消費者の求める安全・安心な農作物の生産だけでなく、農家経営の安定にもつながるため今後の調査結果についても皆さんに紹介していきたいと考えています。

スイートコーンへの効果

ハウス栽培のスイートコーンについて、かん水による生育状況や収量等の効果について調査を行いました。

ハウス栽培＋水利用で早期収穫が可能に！



播種前の散水チューブによるかん水状況。



発芽状況（播種後8～9日目に発芽揃い）



雄穂抽出が多く見られ始める（3月10日）



3月31日のかん水後の状況。

ハウスで栽培されたスイートコーンは、露地作よりも約10日前後早期収穫が可能となりました。出荷等級も2L・Lが全体の約60%、収量も増加するなどかん水効果による良い結果が出ています。

こんな活動も



平成20年11月に行われた「農業まつり」にて、手押しポンプによるスプリンクラーの体験と畑かんのパネル展示を行いました。

水に濡れながらも多くの来場者がスプリンクラーの体験をされました。

茶園への効果

多目的利用施設導入の判断事例として、散水氷結防霜や防除効果などの実証を行っています！

散水氷結防霜による効果を4月に3回実施しました。十分な防霜効果が見られましたが、散水を行わなかった日に降霜があったため霜害が発生しました。やはり、適日の散水が必要なようです。

クワシロカイガラムシの防除については、薬剤散布を行った慣行区と同等の効果が見られました。

カンザワハダニに対する防除効果についても実証を行いました。ダニの発生が少なく今回の調査ではその差が判然としませんでしたので、今後も実証を続けます。

かん水による樹勢の維持対策を夏肥施用直後に3回実施したところ、肥効の向上により樹勢維持に効果が見られ秋季の園相は良好な状態でした。

平成19年産茶の収量は霜害が発生した前年より5日早い摘採となり、樹齢増を考慮しても収量の増加と安定が図られたと思われまます。



3月上旬からの散水が必要



無散水園の凍霜害状況

茶の防霜や防除については、ある程度の効果が実証され、収量・品質向上についても良好な結果が得られましたが、今後も適正なスプリンクラー利用時期の把握のために実証を続けています。

その他の実証園

尾鈴北第1地区では、紹介した実証園の他に、このような作物についての実証もを行っています。



里芋のかん水実証状況



しょうがのかん水実証状況

調査結果については、今後紹介していきます。

「染ヶ岡地区」モデルほ場での取組状況

こんな活動をしています

高鍋町持田「染ヶ岡地区」では、露地野菜を中心とした作型調整や付加価値の高い作物の導入等、畑作農業を確立するため実証ほ場を設置し、新規作物の導入や水利用による効果の調査を平成14年度から行っています。

キャベツへの効果

生育促進効果を確認！

通常、キャベツは規格に合わせてほ場内で拾い取りしていきませんが、今回、耕作者の協力を得て、一斉収穫(各2.5m程の2畝)を行い収量調査を行いました。

点滴チューブによるかん水では、生育が促進され、L玉、M玉の収穫量が高くなっています。

○反当りの規格別収量の比較

	かん水区	無かん水区
L玉	1,070kg	0kg
M玉	3,060kg	2,460kg
S玉	830kg	2,250kg
規格外	190kg	120kg
計	5,150kg	4,830kg

○規格別の個数割合の比較

	かん水区	無かん水区
L玉	14%	0%
M玉	57%	43%
S玉	21%	52%
規格外	8%	5%

※収量調査のデータは平成16年度のものです。



尾鈴北第1地区内

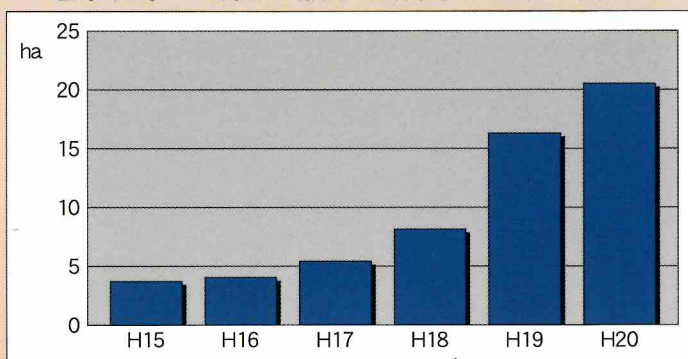
散水施設の導入面積が20haを超えてどんどん進んでいます！

スプリンクラー等の散水施設も、県営事業で導入できます。農家の負担額は、かかった経費の8.3%です。

県営事業を実施中の尾鈴北第1地区では、平成18年度の暫定水利用開始を皮切りに、多くの方が導入されており、平成20年度末で20haを超えています。

特に平成19年度から導入した「一作固定方式」の人気の高くなっています。

尾鈴北第1地区の散水施設導入状況（累計）



一作固定方式って？

作物の作付期間中は散水施設を常時固定したまま利用する方式。マルチ栽培やハウス内の散水施設に利用できます。詳しくは巻末の問い合わせ先へ。



散水施設の導入状況

散水施設の農家負担事例（参考）

(10a当たりの平均値)平成19年度の試算

施設名	事業費	農家負担額
立上式スプリンクラー	約17万円	約1万4千円
吊下式スプリンクラー	約17万円	約1万4千円
散水チューブ	約13万円	約1万1千円
茶園スプリンクラー (取水施設除く)	約45万円	約3万7千円

注) 上記農家負担は施設導入時に1回のみ発生。また、ほ場の形状等により費用が増減します。

◎新たな土地改良区の設立について◎

平成8年度に事業着手しました国営事業が平成23年度で完了予定であることから、切原ダムなどの国営施設等の維持管理と水利用者に対する賦課徴収を行うため、新たな土地改良区が必要になります。

今後、平成21年度～平成23年度にわたり以下の行動を予定しておりますので関係者のみなさまの御協力をお願いします。

○新土地改良区設立準備委員会の設立

○新土地改良区設立に係る地元説明会の開催（地区別）

○新土地改良区設立同意の取得（国営事業の受益地区）

※ 地元説明会開催日程等については、決定次第、御案内を申し上げますので、御出席頂きますようお願いいたします。

農家の声



- ◎ 氏名 今井 一幸さん (30歳)
- ◎ 家族構成 妻、子(長男、二男)
父、母、祖母
- ◎ 労働力 4人(本人、妻、父、母)
- ◎ 経営内容 ぶどう 300a
キャンベルアーリー、巨峰
サニールージュ、ピオーネ
ハニービーナス
ゴールドフィンガー

表紙のぶどう園の「つらら」の話や 畑地かんがい事業などについて尋ねてみました。

Q ぶどう園のつららについて、どのような経緯で始められたのですか？

A 樹を凍らせ、そのショックで芽吹きを促すことが期待されるとのことで行っています。

Q つららのできる条件や散水方法はこういったものですか。

A 気温が -2°C 以下になる予報の時に夜間(気温が 1°C)から早朝にかけて、通常使用する吊下げ式スプリンクラーをぶどう棚の上部に固定して散水を行っています。

Q 暫定水利用ですが、配水施設が新しくなり変わった点がありますか。

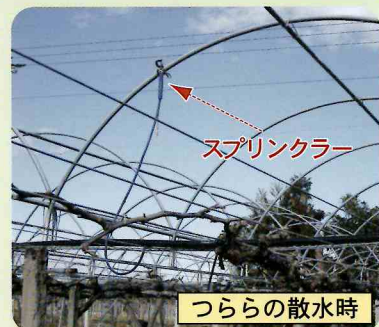
A 以前は、調整池からの通水で水圧が足りず、散水を分散して行っていました。ファームボンドからの通水に変わり水圧が上がり、一度に農地全体に散水できるようになりました。

Q これからの農業で重要であると思うものは何ですか。

A 本人の「情熱」！
あとは、景気の回復。景気が悪いと果物や花は売れない。

Q 畑地かんがい事業について一言

A 水が大切。特に種なしぶどうは、年間を通して、ほぼ毎日水が必要になる。今後も常時水が使えるようにしてほしい。



建設が進む切原ダム



※切原ダムの見学会は随時受け付けております。現在の進捗状況を直接見ることができますので、見学希望の方は、事前に国営事業所又は川南町役場農村整備課へご連絡をお願いします。連絡先は下記のとおりです。

【問 い 合 せ 先 一 覧 表】

国営事業

九州農政局尾鈴農業水利事業所 調査設計課
〒889-1301
宮崎県児湯郡川南町大字川南19403番地4
TEL 0983-27-7411 (代)

関連(県営)事業

児湯農林振興局 農村建設課 国営計画担当
〒884-0002
宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋3870番地1
TEL 0983-22-1367

事務局

川南町役場 農村整備課 開発係
〒889-1301
宮崎県児湯郡川南町大字川南13680番地1
TEL 0983-27-8012

都農町役場 建設課 管理保全係
〒889-1201
宮崎県児湯郡都農町大字川北4874番地2
TEL 0983-25-5717

高鍋町役場 農業振興課 農村整備係
(4月から「産業振興課」へ課名変更予定)
〒884-8655
宮崎県児湯郡高鍋町大字上江8437番地
TEL 0983-26-2021

木城町役場 産業振興課 耕地係
〒884-0101
宮崎県児湯郡木城町大字高城1227番地1
TEL 0983-32-4739

土地改良区

尾鈴北第1土地改良区
〒889-1301
宮崎県児湯郡川南町大字川南18442番地3
TEL 0983-27-5484

畑作営農推進プロジェクト班(事務局)

川南町役場 農林水産課 農産園芸係
〒889-1301
宮崎県児湯郡川南町大字川南13680番地1
TEL 0983-27-8011